

一歩

実力テスト ねらえ、高得点！

昨日、総合で夏休みの計画表をつくりました。夏休み課題を見て、特別学習用の書き込みノートを購入したいという生徒が何人かいました。購入したい生徒は、申込みはできます。ただし、業者から学校に書き込みノートが届くのは、来週以降になると思います。大空祭のリーダー活動時に受け取るなど、学校に受け取りに来てもらいます。承知の上、申し込んでください。

8月23日(金)に第1回実力テストがあります。初めての実力テストです。実力テストは、入試問題に近く、3年間の学習内容をテストするものです。2年生の3月に行った確認テストの範囲がより拡大したものをイメージするといいでしょ。8月の実力テストの範囲は、1・2年生と3年生のこれまでの学習内容です。

実力テストは、範囲が広いので、学習の定着度により、実力テストの点数は定期テスト以上に個人差が大きくなります。多くの方が定期テストにくらべ点数が下がる傾向にあります。個人差はありますが、定期テストにくらべ実力テストは80~100点低い点数になる生徒が多くいます。中には100点以上150点近く定期テストより低い点数になる生徒もいるくらいです。



実力テストという名前の通り、にわか仕込みの勉強では通用しないのが実力テストです。学習に

しっかり取り組み、内容を確実に定着させる取り組みをしなければいけません。

学習に「しっかり取り組む」とは、

- ①学習時間の確保
- ②毎日の学習の定着(学習習慣)

を言います。

また、「内容を確実に定着させる」とは、いわゆる「覚える」ことです。覚えるためには、昨日の『大形中学校ほけんだより No.11 (R元.7.24発行)』にあるように、『メディアコントロール』もとても大切です。「平日学校以外で2時間以上勉強し「スマホを毎日

4時間以上」のAグループの生徒は、「家では勉強しない」で「スマホをほとんど使わない(60分未満)」のBグループの生徒より、数学のテストでは点数が低い統計結果が出ています。ちなみにAグループの生徒の点数は57点、Bグループの生徒は64点です。1点を争う入試で7点の差はとても大きく、この差をひっくり返すためにかなりの努力をしなければいけないことは理解できるでしょう。



夏休み期間に、スマホなどメディアに浸って、勉強しても学習内容が入らない脳をつくるか、スマホなどを少なくして、学習内容の入る脳づくりをするかはあなた次第です。

あなたは

スマホをたくさん使用し、

脳力(能力)を下げることを選びますか？

それとも、スマホをセーブして、

脳力(能力)を高めますか？



夏休みの高校体験入学

本日の放課後、夏休みの高校体験入学の事前指導会があります。

話をしっかり聞いて、聞き漏らしのないようにしてください。わからないことがあったら、最終登校日の明日確認してください。

